

# 「協力のカタチ」その①



「できることはきつともっとあるはず」

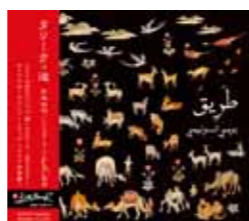
そんな思いを胸に、得意分野やお仕事を活かして、「カタチ」にしている皆さんをご紹介します。最近ではCSR（企業の社会的責任）活動として、NGOへの支援事業なども盛んになってきています。パレスチナ子どものキャンペーンも様々な企業や活動をしている方からご協力をいただいています。皆さんも自分らしい協力のカタチを見つけてみませんか？

## アラブ音楽

これまでの当会のイベントなどでご協力をいただいていたウード奏者の常味裕司さんから、最近出したCD「タリーク（道）」の収益の一部をご寄付いただいています。ウードは中東で生まれ、日本の琵琶や西洋

のリュートなどの原型となった弦楽器。常味さんは日本のウードの第一人者で昨年放映されていたNHKの「新シルクロード」の音楽も担当。多くの方がその美しさを耳にされたと思いますが、今回のCDにはこの新シルクロードの曲が収録されています。CDのパッケージには「この収益の一部はパレスチナ子どもの

キャンペーンに寄付されます」というシールが貼られています。



<http://www.oud.jp/>

※ アラブの踊りとして日本でも人気急上昇のベリーダンス。素蘭さんとルナさんにもそれぞれご支援いただいています。

## レバノンワイン

高橋慶さんは、レバノン産のワインを日本に輸入する会社「Liquor Shop Sawasawa」を自分で立ち上げた若者。中東に留学している時に

レバノンワインに出会い、その魅力にはまったそうです。レバノンワインの発祥の地といわれるほど古代からワイン醸造が盛んで、そのおいしさには定評があり、フランスなどヨーロッパでも高く評価されています。世界遺産になっている遺跡「バー

ルベック神殿」はお酒の神バッカスのために作られたものです。「Liquor Shop Sawasawa」ではたくさんの種類のレバノンワインが紹介されていて、売り上げの一部を当会に寄付しています。



<http://www.country-office.com/index.html>

## 補聴器

日本のいくつかの補聴器会社からは、ガザのアトファルナろう学校への協力をいただいています。(株)フォナック、ジャパン、(株)ワイデックス、(株)オーティコンからは補聴器の調整のためのプログラミングソフトを寄贈いただきました。現在は補聴器もデジタルが主流で、プロ

グラミングソフトが無いとうまく調整できません。ガザでこうしたプログラムを入手することは非常に困難でしたが、おかげでたくさんの補聴器が使えるようになりました。

また、(株)ジーエヌリサウンドジャパンからは、店頭試聴用の補聴器30台を寄贈いただきました。補聴器はとても高価なものなので、ガザではなかなか買えません。少なくとも15人が聞こえるようになりま

した。10年前に専門家としてアトファルナを訪問した愛媛大学の立入哉先生がこうした補聴器会社との連携を作ってくださいました。



## 海外留学サポート

海外留学をサポートする(株)毎日エデュケーションは、「全ての子どもに教育の機会均等を」を合言葉に、途上国や貧困紛争地域の子どもへの教育支援活動を行うNGOを支援する「1%エデュケー

ション基金」を開始し、当パレスチナ子どものキャンペーンもパートナーとしてご支援を得ています。これは、留学先に払う授業料の1%がNGOに寄付される仕組みで、しかも留学生本人ではなく同社が収益分を拠出します。

収益の1%をNGOに寄付するというのは、北欧諸国が国民総生産の1%をODAとして発展途上国の支援に使っているのに似た志の高い社会貢献活動です。目先の利益ばかりに目を向けず、世界と未来を考えた企業が増えることで日本社会も変わるのではないのでしょうか。

<http://www.myedu.co.jp/csr/1percent.html>



## パレスチナ刺しゅうの販売

毎回のサラームでもご紹介しているパレスチナ刺しゅう。ガザやレバノンで障がい者や女性の自立を助けています。刺しゅう糸や布地などは輸入材料のうえ、一針一針、とても労力のかかる作業で、他のフェアトレード商品と比較しても価格は決して安くはありません。でも、その美しさと意味を理解して販売にご協力いただいているところがあります。

長野県の富士見高原にある「ペンション北欧」では、ずっと以前からロビーに製品を飾り、宿泊される方たちにご紹介いただけてきました。

また有機野菜など「おいしさと安心を宅配」している(株)大地を守る会でも、年に数回、刺しゅう製品を取り扱っていただいています。また、ガザ支援の絵はがきも紹介していただきました。



まだ日本では知っている人が少ないパレスチナ刺しゅうですが、こうしたご協力で少しずつ知られるようになってきています。

## インターネット募金

いつでも手軽に寄付ができるのはインターネット募金です。

「イーココロ！」と「Give One」のサイトからは、銀行や郵便局に行かなくてもお家で振込みができ、またクレジットカードを使った寄付が可能です。今年初めのガザ侵攻の時も、全国から多くの方がこうした

サイトを利用して緊急にご寄付くださいました。イーココロ!には、クリック募金といって、スポンサーのサイトをクリックして見るだけで、1円を当会に寄付ができるシステムもあります。まだご存知のない方で、パソコンをお使いの方はぜひ訪問してください。インターネットに接続

できる携帯電話からも募金できます。ITに弱いパレスチナ子どものキャンペーンを側面から支えていただいています。

当会のホームページ (<http://ccp-ngo.jp/>) から双方の募金ページにアクセスできます。



イーココロ! <http://www.ekokoro.jp/>

携帯電話から <http://www.ekokoro.jp/i/>



Give One

<http://www.giveone.net/>

今回は企業などの取り組みを紹介しましたが、次回は他のご協力も紹介いたします。